夕刊　磐城新聞
三月十三日發行
定價 一ヶ月金五拾錢（郵税…）　廣告料…
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

青い灯 一
八幡秋月

黄昏れて來てネオンサインが赤に、青に、輝き初める頃になると酒場は俄に活氣づいて、明るい窓からはレコードの響きと一緒に朗な男女の笑ひ聲がドット流れ出したりして頗る魅惑に富んで來るのであつた。

そして其の中にはゾラ〴〵と美しい着物を着流した若い奇麗な女達が堪へられない嬌笑と、微笑と、其の外様々な悩な媚をたゝへて客を迎へるのである。

だから苦惱に疼く胸を押へた者や、失戀の傷手に胸を咬み續けられてゐる愚者達は、それ等酒場のネオンの輝きに魅惑を感じ其處の女達に魅せられて、酒場は決して吾々の苦惱を癒して呉れる處ではないと云ふ事を知りながらも、胸の苦惱をたとへ一時的にもせよ、忘れようと言ふ儚ない望へから、終々此處のドアを押して仕舞ふのであつた。

そして夜が更けて酒場に漸く疲れが來、テーブルの上に並ぶグラスの數が多くなる頃になると男も醉ひ女達も醉ひ、ライトの下に渦巻く紫の煙草の煙りは浮かれたジャズの響にかき亂されて、酒場の空氣はひどく亂れて來るのである。

だから一寸みると酒場と言ふ處にはけんらんな戀の花が如何にも咲きそうに想れるのだ。何しろ戀を囁くにふさはしい甘い酒もあるし、理性を失はせるに最も効果のある強い酒もあるし其の外戀に必要なものは何でもあるのだから。

處で祐二が足繁く通ふタイガーは同じ酒場でも、それ等の酒場とは一寸趣を異にして、此處にゐる女達は酒なんか全然口にしないのだし、莨なんかも勿論喫まないのだつた。

で自然此處にたゞよふ空氣は極く落ち着いたシンミリとした上品な感じのする處だつた。だから與太ものやなんかには、おまり好まれなかつたがインテリ階級も極く上層の人々等がよく好んで集つた。

勿論祐二は其處にたゞよふ靜かな、そして極く上品な感じのする雰圍氣が好きだつたからではあるけれども一つは此處のビカ一と言はれてゐる、おや子に戀を感じてたからでもあつた。

口の重い、そして酒のあまり飲まない——と言ふよりは全然飲めないと言つてもいゝ位な祐二は酒場に來ても何時でも淋しそうに默りこくつて、たゞ無性に莨ばかり吹かしてゐるのが常だつた。

若し誰かゞ親しめる瞳で祐二の顔をのぞく様にして

『藤本さん、どうしてあんたそんなに憂鬱なの？』

と聞いたとしても祐二は

『そんなに憂鬱に見へるかい？』

『え、淋しそうですわ』

『どうにも仕様が無いんだね、性質だから』

と淋しく微笑んですぐ瞳を外らして仕舞ふのだつたそして又莨を吹かすのだ

斯んな祐二ではあつた。斯んな性質の男が酒場の女達に好意をもたれる筈のものではなかつた。

だのに不思議な事にはタイガーの女達からは比較的優遇される客の一人だつた。

磐新歌壇
小山田滋選

○そゞろ來て藤の下邊にたゝずめば來るゝに間あり鮫雀鳴く　磯上六花

○秋の日は早くも暮れて野歸りの素足冷たく月影を踏む

『墓參』　木村螢秋

○草いきれしげき山路を歩み來て吾が母上の墓に詣でぬ

○御命のみぢかく逝きしわが母の墓に詣づるひとりなりけり

○まさやけく咲きてゐにける高原の墓地の卯の花折りて捧げつ

雪國吟 三
島田忠夫

○千曲川くろぐろして流らふる夜の橋を越ゆさむき雪夜に

○ありしこと忘れし如し雪國の宿かさぬる幾日ならむ

○雪見つつ甞はよけども夜々の夢に古里人を思ふは哀れ

○戸倉湯に二夜寢まりて湯をそ浴むわがうつし身の痔をいやすべく

○あはれあはれ雪に埋れし浴室にアスパラカスの青く萌えいづ

○雪ばれの星そらとなれる山峡に千曲のながれ太々と黒し

○雪の山ゆ下りくる鳥かここだくも湯宿の庭に鳴きひそみつつ

○湯けむりのこむる湯室に枕ぎて日なかゐたれば泪おちけり

いちご
ねいさぶらう

私は夢でおいしい果物を頬ばつたり、生々しいおさしみをかみ切つては……重い胃の疲勞を覺える事がある

そして今食時を前に熟したイチゴのとろけそうな甘さを……咬みてゐる様だ

不思議な春の感情は意識する、疲勞のせいだらうか

靴下の上からすき透つた女性の柔な青春の肉に、おいしい

イチゴを手にして食べられるのだらうかとしのび寄つた春に獨言して見入つてゐた晝の夢。

闇に咲くエンヂェル
古川哲夫

暗闇に歎く吾が戀人の面影……戀しくも吾が肩に凭りかかる闇のエンヂェルよ

吾れ愛しくも涙は誘ひ言ひぬ

愚かなりき吾が戀よ

かくて今こそ涙に溺る

『吾れ夜毎に夢みぬエンヂェルよ』

愛しくも闇に歎く戀の

いかなりせばかくも

涙に曇る吾が戀よ。

社會の今日

○3月14日——△富士山噴火（延暦一九）△淺野長矩吉良義央を傷く（元祿一四）△ゴーリキイ生る（一八六九）△横濱市電爭議解決△シカゴ反日暴徒わが領事館を襲ひ七名の負傷者を出す△ドイツ大統領選擧、ヒンデンブルグ元帥優勝せしも法定數に達せず（昭和七）

春雨や土手を背にして畑の家　林秀

靜かなる春日を獨りこもり居れば、屋根に鴉の歩くが聞こゆ　田中香英

講談 藺院お蝶
(274)　渡邊默禪作　布施長春齋畫

『不在中、お尋ねくだされたとのこと生憎でござつた、歸宅後門人共から承はつたところでは、遠州白須賀のお方とやら、どのやうな御用談か御話しくださるやうに』

千葉はいんぎんに問ふのであつた。此の時振袖に堅矢の字の帶、髮を文金島田にした娘が茶を持つて出た——背のすらりとした所から面長の色の淺黑いのが確かに此の前に來た時、襖の陰から覗いた女だ、それがしとやかにお辭儀をして直ぐ立つて去つた、立つ時にちろりと浴せた眼づかひが、前と同じやうに凄かつた、矢張睨むやうに——その睨みかたに意味が籠つてゐるやうに感じられた。

眼のけいとして天狗式に凄くぎらつくのが、劍客の常であるが、是れは不思議にも爾うではなく深沈な瞳に人懷こい優し味が飜れて隆い鼻と圓い唇との調和よく柔和のうちに立揚つて氣韻をたもつた人品は流石に數千の子弟を薰陶する達人としての貫目があつた、年配は五十そこ〳〵、總髪天窓を紫の紐でぎり〳〵と結ひて、卵色の紋服に粗末な古袴、鐵骨の扇子を持つてゐたが、ゆつたりとした体つき、物言ひも極めて圓かな、凡てにかどの取れた老武士である、お蝶は嘸怖ろしいお方であらうと想像してゐたゞけに內々意外に驚ろいたくらゐだつた

『はい御多用のところへ、度々お邪魔をいたしまして誠に恐れ入りましてございまする、私しはアノ白須賀の平太と申しまする者の家に少々仔細あつて世話になつて居りますが、實は京都在北白川の百姓與平の貰ひ娘、蝶と申しまする不束者でござりまする』

と先づ自分から名乘つて置いて

『此の度お江戸に態々出て參りました譯は外でもございません、三年前まで御當家樣の御指南を戴きました土州高知藩、山內樣の御家來坂本さまのことに就きまして、先生にお伺ひをいたしたい廉があるのでございます』

と言ふと

『おゝ坂本のことか、成程門人共が左様な儀を申し居つた、では其許は坂本の縁者でもござるかの』

『いえ、爾ういふ譯ではございませんが……』

お蝶は口籠つた

面と向つては流石に言ひ出し難く少頃もじ〳〵して居たが、此處が一期の浮沈——自分に取つては生涯の運命を貫くべき大問題である——と必死の勇氣を絞つて

『その龍馬樣から私の事につきまして、何かお便りは御座いませなんだか、それをお伺ひいたしたいので』

と口を切ると、千葉は無造作に

『無い、歸國以來只の一度も消息はござらんから如何いたしたことかと此方に於ても案じ居るやうな譯、其許へは何か歸藩後手紙は參つたであらうが無事かな息災かな』

反對に訊く

『おや左樣でございますか』

お蝶は張合拔がして

『實はアノ、私とアノ、固い約束をいたした事がございますので、アノ、最う疾にお江戸へ參つて居らなければならない筈なんで、それでアノ、私しは當家さまに……當家さまに』

是だけ言ふのも稍との思ひ、それすら半分はアノの感投詞に消されて肝心の意味が霧の様にぼやけて了つた。

爪をかむ女
(21)　ヴィニア・デルマー作　堤光泰譯

そして夫人は掠めるやうにリユセツトのわきを、電光の如く戸外へ出て行つて仕舞つたものだ。

ラルフは彼女の後姿を眼で追つてゐた。

『[illegible]』と言つて、その唇には苦い微笑の影をほのかに見せてゐた。『あれを失ふか、それとも、さんざん引ち拉がれてあれの兩親のところに轉げ込むか、孰れかに決めなければならぬ時です』

『しつかりなさいな、ラルフさん、さうすりあ心の損傷を救つて呉れますわよ』

『あなたが僕があれを愛してゐるやうに誰かを愛してゐる時でも、しつかりしろですか？』

リユセツトは頷いてみせた。

『それあ甲冑よ、阿片劑よ、試みて御覧なさいな』

『僕には出來さうにもないですな。僕は今日、この山の手圖書館が誰かに讓れるやうな氣がするんです。そこで、どうやらカリホニアへの旅費が絞り出せるといふものです。あちらへ行けば年寄りだつて生活を始めるだけは出して呉れると思ふんです』

『あら、ラルフさん！』

『リユセツトさん、濟みませんがね、あなたどこの娘さんを誰か一人、一寸の間、僕が家に行つて、ヘレンに一緒に行くつて言つて來るうち店番に貸して呉れませんか。あいつ荷造りでもしてるでせう。まだ金の件で實家へ電報は打つてないんです。それに、あれが眞直ぐ宿へ行くのを見たんですから』

リユセツトは自分の店へ戻つて行つて、ハゼルをやつた。彼女は窓際につゝ立つてラルフが出て行くのを見詰めてゐた。彼は足速に歩を運んでゐた。しかし彼の眉のうな垂れたあたりには曰くがあつた。リユセットは夢中になつて、夜會服を求めてゐるお客にも目もくれなかつた。彼女は別な指の爪を噛んでゐた。

生徒募集
產婆。看護婦
今。入學の好時期
新學期は四月八日ヨリ
御希望の方は至急御申込みを
平南町 電話三〇七番
平產婆看護婦學校
校長 清野キヨ

外科 全般
內科 小兒科 女醫
醫學博士 渡部義夫
女醫 渡部きい
平町田町大通り（電話二七七）
渡部外科
（入院應需）

產婆看護婦 生徒募集
願書提出四月八日迄（可成至急）
修業年限 產婆、看護婦科ヲ通ジテ一ケ年
平町一丁目
石城產科婦看護婦學校
校長 高崎千代 電話三五七番

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
醫學士 山內亨吉
山內醫院
電話六九一番
入院隨意 病室完備

內臟外科 整形外科 泌尿器科
外科 產婦人科
醫學士 內本宗八
平町新川町十九番地
木村病院
電話一六四番

淋藥界の最高權威
無効返金（二日間服効なき時は殘藥引替に全部返金す）
別府淋藥
一週間…赤箱—金五圓 黑箱—金參圓
世界の名湯別府温泉で名高い。岩里家の家傳祕藥は男女血ウミ、コシケ、淋病消渇に奇績的効果ありどんな頑固な痳疾でも短時日に根治が出來且つ再發することなく注射や他藥で治らぬ諸賢は最後の藥として迷はず……名藥別府淋藥の御服用に依り幸福を得られん事を希望致します。

別府皮膚藥 金三十錢 金五十錢
天下の名湯別府温泉のラヂウム含有の精に各病醫院及最高學府の處方劑集め大成せる皮膚病特効藥であります、たむし、いんきん、みつむし、なます、しらくも等其他皮膚病に卓効あり。
九州別府市鶴乃園 岩里天然堂
平町三丁目北裏通り 代理店 渡邊いと
（特約店募集）

斯界のナンバワン
月星ゴム長靴
つちや會社製品
瀟洒な形、奥床しいエナメル光澤輕量は普通ゴム長の半分…耐久力百パーセント
紳士、學生一般人士…賞讃確實
小人用 一圓より 大人用 二圓五十錢
大塚製靴部
平・田町 電話七十七番

銘木 ベニヤ板 天井板 屋根板 內外木材
精實勉強御用命を願ひ上ます。
屋根材の大王（日の出 太陽印）便利瓦
耐久力優に二十ヶ年以上
壹坪葺上八十錢內外
日本建築紙工株式會社 磐城代理店
㊍織田材木商店
平町字紺屋町四〇 電話四六〇番

創立 生徒募集
入學の絶好期
洋裁を知らねば恥の時代となりました。時代に添た、スピーディな合理的個人教授
磐城女子洋裁專門學院
新學期開始四月五日・每月毎月初日
ミシン無料貸與及び材料貸與の方法あり……
學則郵券三錢封入…自炊寄宿の便あり
平町白銀町拾五番地

月曜論壇　同窓先輩の責務

橋本校長を對象とする磐中卒業生の動搖が比較的泰然自若たる學校の態度に對し、卒業生側が所謂青年の客氣に驅られ其間の根底に於て幾分薄弱で無かつたかと思はるる節あるに加へその向背を決すべき立場に在る同窓會の先輩が之亦確乎たる信念に缺けて居た傾きある爲最初の觸れ出しが可なり大きかつたに反し殆ど有耶無耶の裡に立ち消えとなるではないかと觀測さるるに至つた事は地方に於ける代表的學府の尊嚴を維持する上に於て寧ろ欣ぶ事ではあるが、由來該問題たるや難に勃發したる横井教諭の生徒毆打事件に關し當時問責的行動に出でた同窓會が其後徒らに曠日彌久、漫然として之れが淸算を懈せるに端を發して居る以上問題の責は當然同窓會に於て之を負はねばならぬ筋合である。抑も學校關係先輩の集團たる同窓會は常に後進に對して其の動向を示唆すべき重要なる責任を有する機關で其の進止行藏は直に後輩の採つて以て之を摸倣する場合多く今次の校長糺彈問題も根が畏敬する先輩によつて其の狼火を揚げられ之れが推移如何に就ては當の關係者たる卒業生一同の少くとも刮目措かざるものあつたに拘らず荏苒卒業式に逢ふも何等の解決無く却て意外なる他職員の難陟が傳へられた爲事茲に至つたもので同窓會の責任者が當路線香花火的に焦躁し乍ら遂に之れが締め括り放漫に附した責免れ難きと共に其輕忽は掩ふべからざるものあるにせよ記念べき卒業式直後に於て之が爲恩師との間に呪はしき追懷を遺した卒業生に對しては衷心同情を禁じ得ざるものがあり、若し夫れ勢ひの然らしむる處奔放多感なる青年によつて何等かの不祥事件を惹起するが如き場合ありとせば同窓會幹部諸公以て如何となす。之の意味に於て問題の一日も急速に解決されん事を望んで措かぬものである。

噸一圓の罰金覺悟で　各方面の需要に應ずる
常磐の炭鑛景氣愈々本格的

全國貯炭は百五十萬トンと近年稀有の少量を示現し全國的に石炭飢饉の情勢を示してゐるが最近に至つて最も石炭供給の困難を感じてゐるのは今夏より秋にかけて增產される製鐵業への石炭である、即ち八幡製鐵所消費炭は昨年度において約二百萬トンでその內譯は

△直營坑所九十萬トン△地元納炭五十七萬トン△その他卅六萬トン

であるが本年秋には七百トン熔鑛爐に火が入れられるので直營炭坑の增送を計る外民間炭鑛會社へ廿五、六萬噸の增加を要求してゐるこれがために三井、三菱系の大手筋では製鐵所への供給炭は特種炭(コークス用)である關係上一般的の送炭制限緩和による增產によるわけに行かず結局一噸につき一圓の罰金を支拂つてまで增送せねばならず目下製鐵所との間に交涉が重ねられてゐるが同樣に輪西、釜石、兼二浦等における休止熔鑛爐の復活は本年度の炭界にとつて相當重大な衝動を與へてゐることは注目に値する

隨つて常磐炭界に於ても俄に需要の增大を來し從來の送炭振りでは到底間に合はぬので協定に基く一噸一圓の罰金を支拂ひ機宜の送炭をなす方針であると

省納炭一般用共增加
既往十日間の發送統計

去る一日以降十日迄の送炭量は
營業用三、三〇九車　四二、六三六噸　省用一、四六八車　二一、三七四噸　合計四、七七七車　六四、〇一〇噸
で前年同期に比し營業用一、一一〇噸、省用七九五噸、合計一、九〇五噸を增してゐる

文部省の招電に　橋本校長急遽上京
卒業生運動を打切る

橋本磐中校長は昨十二日夜文部省からの招電に接し上京したが過般來强硬な態度を持して來た今回卒業生は校長との今後に於ける態度運動を一段落とし同窓會とを靜觀する事となつた

磐中入國記　記事輻湊に付休載

牙警の雄は巣立つ
昨日平商第十三回卒業式

平商校第十三回卒業式は昨十二日午前十時から擧行既報三十八名に卒業證書を授與し矢野校長の告辭、町長代理酒井助役、鈴木、佐々木兩町議、橋本磐中校長、菅本商友會長の祝辭、在校生四家一君の送辭、卒業生外村武夫君の答辭、父兄總代叶多滿氏の謝辭あつて正午閉式したが町長の祝辭次の如し

祝辭

諸子は本校に入學以來克く本校の教育精神を体し修學の功を積むこと數星霜鍛錬し國家有用の實業家として活動するの素地を得、今や卒業の榮譽を擔ふ誠に諸子のため又國家のため慶賀に堪へざるなり之固より諸子の日夕刻苦勉學に俟つもの大なりと雖、抑々由つて來たる處を思へば諸子の爲に拮据精勵し且つ多大の理解を持つ慈愛深き父母あり寬嚴宜しきに適ひ指導誘掖に當られし敎職員各位あり、而して今日の榮譽を荷ふを得たるなり、殊に財界不況の現時に處し而かも長年月に互り幾多の勞苦と犧牲とに想到すれば焉んぞ滿腔の喜悅を湛へて諸子の前途を祝福せざらむや、諸子は又更に文敎の制を安んじて勉學し得る聖恩に報いざるべからず、惟ふに輓近我國現時の情勢は思想上に經濟上に將又外交上に直面し洵に由々しき難局に直面し物質文明の弊は依然滔々として底止する處を知らず浮華放縱の習靡然として風をなし或は浮薄なる頽廢的思想に心醉し質實剛健なる精神を失ひ新奇なる外來思想に耽溺し尊嚴なる我國体觀念を誤り動もすれば肇國三千年の歷史を忘るる如きは眞に聖代の痛恨事と言はざるべからず、かゝる重大なる秋に方り諸子は國家觀念の培養確立に意を致し此難局打開の重責に任じ直ちに實務に就くと進んで學を志すとを問はず質實剛健なる精神を養ひ常に品性を陶冶し以て他日の大成を期し須らく時代の趨向と帝國の將來とに鑑み健全有爲なる國民となり國家の中堅たるの本領を達成せられんことを望んで已まざるなり、之實に國家が諸子に要望する處にして本校敎育の本質に副ふ所以なり、諸子之を努めよ一言素懷を述べて卒業生諸子の贐とす。

十三日會　講演
深作博士來平

十三日例會は今十三日午後七時よりマルトモホールに於て開催、深作安文博士の『個人主義より人格主義へ』と題する講演ある

お互婦德を養ひ　新興日本を建設
女青幹部講習會で決議

郡聯合女子青年團幹部講習會は今十三日午前十時から平第二小學校に於て開催したが出席約二百五十名、佐藤一團長開辭、國歌合唱、令旨奉讀の後左記宣言をなし磐城高女教諭内村理女史の『私共の家庭』帝大敎授文學博士深作安文氏の『現代と婦人』の講演あり午後三時盛會裡に閉會した

今や我國の情勢は內外共に非常の難局に直面して居ります、此の秋に方り我等女子青年は益々修養に勉め國民として亦女性として其の本分を盡し協力一致此の難局を打開し新興日本の建設に邁進致しませう

湯本分團　慈善興行
震災義捐金募集

湯本町青年團湯本分團では三陸震災義捐金募集の爲今十三日午後六時三函座で講演と映畫の會を催す

投槍　投書歡迎

磐中問題に合掌す。

◇卒業生自重せよ。吾々は社會の事象を見て常に相互反省することに依つて解決し、而も向上することを觀る、諸君は前途有爲の青年として今將に多難なる社會へのスタートを切つた。幾多の艱難と鬪ひ、社會人として大成すべく努力すべき方々だ、諸君の學校を思ふ念慮は之れを識る、然れども惣て短慮に事を起すは前途を誤る一因である、かゝる時恒に反省し、自重し一段の修養に精進してこそその目的は將來によつて完成する

◇校長も反省せよ。校長は恒に生徒を已が子弟の如く良きパパとして純愛を以て指導すべきである、その問題は政策、假面を許さない。新島襄先生の生徒の爲めに己れが腕に鞭したるが如き信念にこそ全生徒の心は良きパパして傾く

◇校長と生徒は互に胸襟を開いて、善きも惡しきも偽りなく率直に話し合ひ良きは賞揚し、惡しきは矯正することによつて、總ての問題は談笑の裡に解決す。敢えて苦言を呈する。（一卒業生）

松丸太を上段に構へ　竹槍の親子を撲り殺す
廣野上淺見川の決鬪慘劇

昨十二日午後九時頃双葉郡廣野村上淺見川字小松地內の土堤に血みどろな四十男の死体と大地をのた打ち廻つて苦悶中の二十才位の男あるを通行人が發見駐在所に訴へ出たが右は同村齊藤傳吉（四六）同重勝（二三）の親子で同日午後五時頃日頃不和な同村根本末吉（三八）を訪ねて決鬪を申込み午後七時頃竹槍を用意して前記土堤で渡り合ひ相手の爲傳吉は松丸太で頭部を毆打されて即死し重勝も重傷を負つたもので加害者末吉は直に逮捕された、重勝も手當の効無く今曉二時死亡、平支部から中島監督判事、小林檢事が今十三日午前十一時十一分發實地檢證の爲出張した

常磐銀行川角氏捷つ
昨日曜の郡下卓球大會

第四回郡下OB卓球大會は昨十二日午前十時半から常磐銀行樓上に於て開催したが參加三十名で白熱的接戰を續け常磐銀行川角豐太郎氏が二回連續優勝カップを得て三時半閉戰したが第三回戰からの戰績次の如し

A組（三十才以上）
川角3―0山田
星1―3大村

B組（四十才以上）
名尾3―0寺山
內村3―2丹野

準決勝
川角3―1大村（磐中）
夕尾3―1內村（營林）

決勝
川角（常）3―2名尾（磐）

坂本所長築港視察

內務省仙台土木出張所長坂本丹治技師は昨十二日來郡した小名濱築港現場を視察歸廳

怪我した實習生から　會社相手に請求訴訟
東京から平支部へ移送

湯本町入山炭鑛實習生入田幸太郎（三〇）假名―が昭和四年八月中同鑛附屬鐵工場で作業中吊り上げた正面盤の鐵鎖が切れ其の下敷となつて兩手足に就勞不能の重傷を負ひ社會大衆黨顧問辯護士三輪壽壯氏を代理人として入山炭鑛を相手取り東京地方裁判所に提起した二千五百圓の損害賠償事件の裁判長は飯野村出身前縣議山崎吉平氏令息山崎一郎氏で證人喚問、檢證等の便宜から事件を平支部に移送して來たので同所で十日第一回口頭辯論を開き次回は二十日頃で被告側辯護士千葉彥治氏立會で開廷する事となつた

小學生から成る　四倉町の不良團
關係者を召喚取調べ中

四倉署では一兩日來同町小學兒童某々十餘名を召喚根本署長自ら何事かを取調べ中であるが探聞する處によれば之等を中心とする約四十名の不良兒は赤湖團と稱し竊盜搔つ浚ひ等で各商店其他を荒し廻つてゐた事が發覺したもので事件の展仲を憂慮されて居る

供述に怪しい節々　前科五犯の浮浪人
平署に留置取調べ中

平署柏木刑事が昨十二日午後十一時半頃田町通りを密行中袴、羽織姿の擧動不審者を發見連行取調ると鹿兒島市山下町五浪花節語り雲井水月事山本正國（五八）と自稱したが不審の點あるので各署に照會身許調査の結果右は當時住所不定無職竊盜前科五犯茨城縣東茨城郡下中妻村築地生れ加藤東（四八）で今迄白を切つて居るが中立に曖昧の點あり犯行ある見込で目下嚴重取調中

。。。。。岩堀校長祝賀會　敎育功勞者として過日知事より表彰された湯本入山小學校長の被彰祝賀會は昨十二日午

赤井林野組合疑獄　近く全面暴露か
關係者續々喚問

赤井林野保護組合の不正事件は副組合長宮內喜作（五二）會計猪狩吉太郎（五八）を留置し引續き高橋司法主任が嚴重取調中であるが昨十二日は更に幹部木田仙次郎（五二）外數名を引致し愈々茲數日中に事件の全貌が暴露されるに至つた

河瀨氏優勝
小名濱かるた戰況

小名濱町かるた會主催第一回大會は十二日午後四時から同町吉田屋別館で開催參加地元をはじめ平、好間、泉その他から三十有餘名に達し白熱戰を演じ左記入賞者決定十三日午前一時三十分終つた

1河瀨貴世志（平）2根本十郎（好間）3織田正（好間）4高野正（小名濱）5太田孝一（好間）6宮下茂（小名濱）7馬場林鳥（平）8馬場時子（平）

雪搔き奉仕
火防組と青年團

平町才槌小路火防組では數年前から通學道路の雪搔きをして來た外鎌田青年團でも昨年から開始し兒童通學上少からぬ便宜を與へ父兄間から非常に感謝されて居るので町當局では之等の篤行を何等かの方法で表彰したいと云つて居る

科料未納整理　平署

に於ける昨年中の警察犯處罰令違反者三百名中科料未納者約五十名あるが再三の督促にも拘らず納入を怠つて居るので今十三日から未納者全部を留置する事となつた

早春の滿洲から

過般滿洲に於て不慮の死を誤報された小名濱出身の步兵少尉小松主稅君は今十三日母校に左の如き通信を寄せた

私儀相變らずの頑健にて日々軍務に從事してゐますから御安心下さい、目下奉天靖安遊擊隊東大營第二軍機關銃隊に勤務致し居りますから御知らせ致します大變に內地の模樣も變化はないでせうけれど變つた事と存じます滿洲も春となり次第に暖かになりましたが未だ氷點下の溫度です。

。。。。。江名農事傳習會　町農會の主催で十五日午後一時から小學校で開く

。。。。。一丁目衛生區長　平町一丁目衛生區長は遠藤五三二郎氏と決定今十三日役場に屆け出た

。。。。。平區略式一束　內郷村宮平太郎朴慶植（三九）は一月一日內妻千代子が不在中家財を實家に運んだのを憤つて毆打し△小名濱町字西町二六齊藤萬吉（三二）は一月十四日吉田竹松外四名と多賀郡大津町深作留吉方で賭博をなし△上小川村大字上小川字川向田農田久喜一（三二）は一月二日同村田久兼治と口論の末栂指を嚙み指骨を折傷した廉により何れも三十圓の罰金を略式命令された

。。。。。町村農會長會　今十三日午前十時から平團体事務所樓上に開催豫算の說明、事業計劃の打合せをなした

平町慶弔錄

。。ヂフ　平町南町一五木村テル（一〇）は昨十二日ヂフテリアと決定した

△出生
五町目六東京市杉並區阿佐ヶ谷町四丁目六七若松正一長男富美雄
揚土二四東京市豐島區雜司ヶ谷町四丁目六五四南部有次長男有幸

仲間町一三伊達部兵本村大關盛六
七渡邊松治三男光男
四丁目五九玉川村大原上坪一六渡

遂順二男昌洋

舊二月十九日　火曜　己卯　友引　建　尾宿
新三月十四日

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神　鑑館

△一白の人　堅き信念を持ち進むにも急ならざるが良し△二黑の人　身の落付きを大事とすれば福運に向ふべし△三碧の人　遲くとも物事成功に近づく日投機は外れ勝△四綠の人　內外を堅固に守るべき日誘惑は危險と知れ△五黃の人　時未だ至らざるに乘り出して失敗し易き日△六白の人　問ふ事なく默すべし出ろくひは打るゝ習ひ△七赤の人　他人の事に力を入れ過ぎて敵を求め易き日△八白の人　高位久しきを保ち難き感ある日足元に用心△九紫の人　左右の言葉に動かされず一意邁進すべき日

カバン　ランドセル
優秀特作價品豊富
㊣ 中野洋品店　平・電二五三
春の……　流行逸品　學生洋品

夜間診療
胃腸
內科　十二指腸虫病　專門
婦人病　痔瘻病　淋病　專門
松村醫科醫院（平町南町電話一〇七番）

吉田眼科病院　平町紺屋町